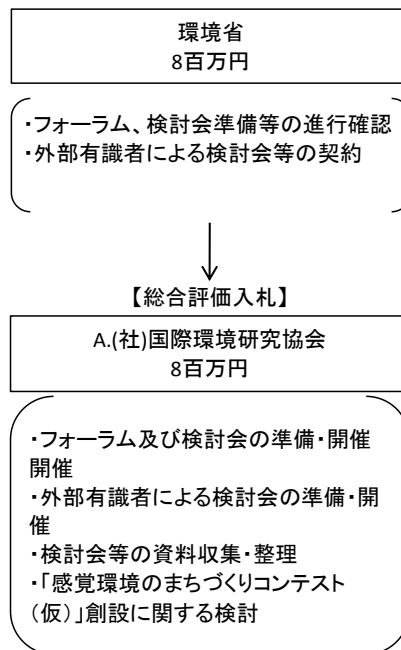


行政事業レビューシート (環境省)							
予算事業名		良好な感覚環境形成のための街作り推進費		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁		水・大気環境局		担当課室	大気生活環境室	大気生活環境室長 土居 健太郎	
会計区分		一般会計		上位政策	大気・水・土壌環境等の保全		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		今後の騒音・悪臭防止対策の推進に当たっては、これまでの規制を中心とした行政に加え、良好な感覚環境を創出・保全していく手法を組み合わせることが必要となっていることから、すずしさ、光、かおり、よい音といった五感に心地よい環境を取り込んだ地域づくりを推進することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)		・感覚環境のまちづくりに関する取組の普及及び認知度の向上を図るためのフォーラムの開催 ・具体的な取組の推進方策として感覚環境のまちづくりに関するコンテストの創設に関する検討					
実施状況		・「感覚環境のまちづくりフォーラムin静岡市」を開催し、具体的な取組について外部有識者による講演等を行った。フォーラムには約150名の参加があり、開催後のアンケートでも概ね高評価であった。 ・「感覚環境のまちづくりコンテスト(仮)」の創設を目指し検討を行った。検討にあたっては、6名の有識者による検討会を2回開催した。既存の表彰制度を収集し比較検討を行った他、応募及び審査の方法、コンテストの周知方法等、感覚環境のまちづくりを普及させるためのよりよい制度の在り方を検討した。					
予算の状況 (単位:百万円)			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額(補正後)		9	6	6	
		執行額		10	8		
		執行率		111.1%	133.3%		
		総事業費(執行ベース)		10	8		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	フォーラム及び検討会前には環境省担当官が請負者と十分打合せを行った。また、当該フォーラム及び検討会には、環境省担当官も出席しており、業務が適切に行われていることを確認している。					
	見直しの余地	環境関連のイベントでパンフレットを配布する等の積極的なPRを行い、感覚環境のまちづくりを一層推進していくことが必要。 より多くの方にフォーラムに参加していただけるよう、開催地、開催時期等について検討することが必要。					
予算・監視・所見率							
補記							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につ
いて記載する。使途と費目の
双方で実情が分かるように
記載）

A.(社)国際環境研究協会			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	感覚環境設計に係る調査業務	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0